

4. 外気取入れ (特性)

- ◆注意事項
- ・本体外気取入れ口から外気取入れした場合、騒音が大きくなる場合があります。
 - ・本体に取入れた外気は、粉塵処理されませんので、現地ダクトでの粉塵処理が必要となります。
 - ・外気と室内の混合空気の状態が右表の使用温度範囲にあることを確認してください。

使用温度範囲

モード	温度範囲
冷房	15℃～24℃(湿球温度)
ドライ	
暖房	15℃～27℃(乾球温度)

※相対湿度
30～80%

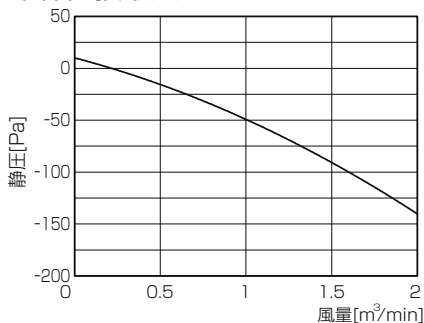
■4方向天井カセット形 (i-スクエアタイプ)

- 多機能ケースメントを使用した場合の外気取入れ口は、4 コーナーの任意 2 箇所以内としてください。
- 多機能ケースメントより外気を取入れる場合、外気取入れ量は空調機風量の 20%以下にしてください。
- 製品本体より直接外気を取入れる場合、外気取入れ量は空調機風量の 5%以下にしてください。
- 高性能フィルターエレメントを取付けた場合でも、外気取入れは可能です。
- 外気取入れをする場合は、別売スペースパネルとの併用はできません。
- 外気取入れをする場合は、ダクトフランジは必ず別売部品 PAC-SH650F をご使用ください。
- 左右ルーバーユニットを組み込んでいる場合は、多機能ケースメントを使用した外気取入れはできません。
4 方向カセット製品本体への外気取入れのみとなります。

PL-ZRP40～71HA2, PL-ERP40～80HA2

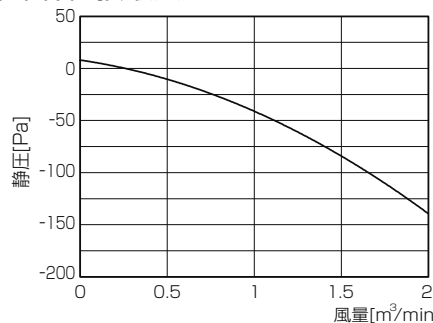
PL-ZRP80～160HA2, PL-ERP112～160HA2

①本体直接取入



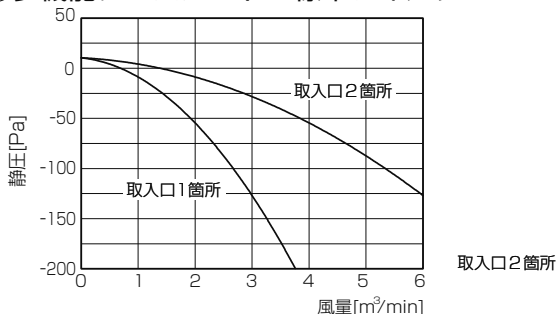
※外気取入風量は、空調機風量の5%以下としてください。下表2参照。

①本体直接取入



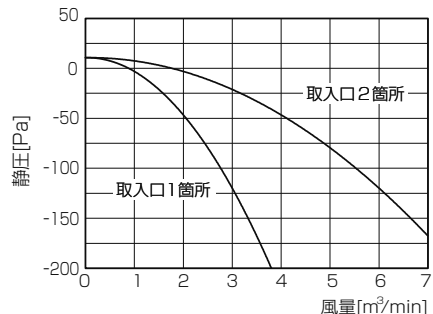
※外気取入風量は、空調機風量の5%以下としてください。下表2参照。

②多機能ケースメント+標準フィルター



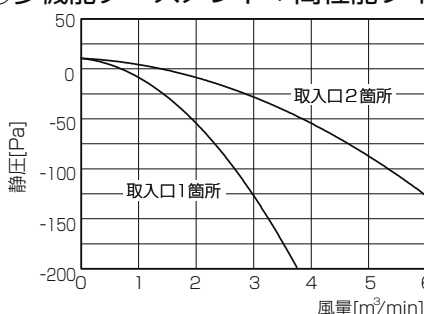
※外気取入風量は、空調機風量の5%以下としてください。下表2参照。

②多機能ケースメント+標準フィルター



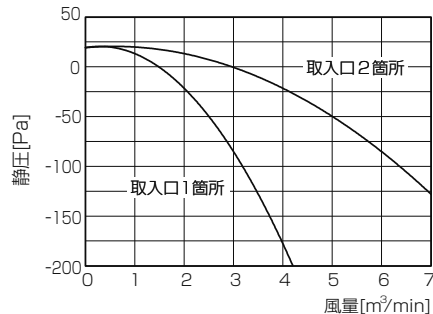
※外気取入風量は、空調機風量の5%以下としてください。下表2参照。

③多機能ケースメント+高性能フィルター



※外気取入風量は、空調機風量の5%以下としてください。下表2参照。

③多機能ケースメント+高性能フィルター



※外気取入風量は、空調機風量の5%以下としてください。下表2参照。

表 1. 室内ユニット風量 [m³/min]

能力	40	45	50	56	63	71	80	112	140	160
ZRP	17	17	17	17	19	21	24	36	36	36
ERP	16	16	18	18	20	22	23	34	36	36

表 2. 本体直接取り入れ時の外気取入許容範囲 [m³/min]

能力	40	45	50	56	63	71	80	112	140	160
ZRP	～0.9	～0.9	～0.9	～0.9	～1.0	～1.1	～1.2	～1.8	～1.8	～1.8
ERP	～0.8	～0.8	～0.9	～0.9	～1.0	～1.1	～1.2	～1.7	～1.8	～1.8

表 3. 多機能ケースメント使用時の外気取入許容範囲 [m³/min]

能力	40	45	50	56	63	71	80	112	140	160
ZRP	～3.4	～3.4	～3.4	～3.4	～3.8	～4.2	～4.8	～7.2	～7.2	～7.2
ERP	～3.2	～3.2	～3.6	～3.6	～4.0	～4.4	～4.6	～6.8	～7.2	～7.2

※許容範囲を超える風量を取り入れた場合、騒音が大きくなったり、能力不足の原因になることがあります。
表 2,3 に各能力帯の外気取入れ風量を示す。網掛け部分の風量は、取入口2箇所を取り入れた時の値です。
それ以外の能力帯の風量は、取入口1箇所を取り入れた時の値です。